



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月5日（月）



9月3日（土）は、早朝から西小応援団をはじめ保護者や地域の皆様にお集まりいただき、除草作業を行っていただきました。何人かの子供たちもおうちの方と一緒に作業をしてくださいました。おかげさまで正門付近の花壇や、防球ネット下の雑草がきれいに取り除かれ、とてもさっぱりしました。お忙しいところ、本校のためにご尽力くださり、本当にありがとうございました。子供たちにも、除草作業でお世話になったことを、担任から伝えました。感謝の気持ちを大切にしていきたいと思います。

今後、学校運営協議会では花壇に花を植える計画があります。花いっぱいの学校は、子供たちの情操教育に大きな効果がありますので、今から楽しみにしています。

今朝の業前活動は、読み聞かせでした。保護者の皆様方におかれましては、いつも読み聞かせにご協力いただき、本当に感謝しています。読み聞かせは、子供たちが聞くことに集中できるので、内容をよく理解できたり、絵本であればお話を聞きながら挿絵をみて想像力を広げたりする効果があります。また、子供たちが本を好きになるきっかけづくりにもなります。読み聞かせは、子供たちがとても楽しみにしている取り組みの一つです。いつも集中してお話を聞いています。小学校低学年くらいまでは、寝る前に読み聞かせをしているご家庭も多いのではないのでしょうか。ちなみに、我が子は、「おさるのジョージ」が大好きで、私も寝る前によく読んで聞かせていました。読んでいるうちに、こっちが先に眠くなってしまう、とぎれとぎれになると、「ちゃんと読んで！」とよく言われたものです。

5年生の国語では「新聞を読む」学習があります。新聞記事の構成を理解するために読む活動と、それを生かして見出しを書く活動という二つの言語活動がある学習です。新聞記事の要旨を把握するために、新聞記事の構成と写真の役割について理解し、二つの新聞記事を読み比べることで、書き手の取り上げる事例と意見の関係によって構成が変わることに気付かせます。最近の子供たちは、インターネット記事に触れる機会が多くなり、そこに書かれていることだけが事実とらえてしまいがちです。また、自分の考えに合う情報以外は、受け入れない風潮もあります。複数の新聞を読むことを通して、相手や目的に応じて書きぶりが変わること、一つの事実に対していろいろな切り口や書き方があることに気付くことが大切になります。

今日は、先生があらかじめ用意した新聞記事を題材に、新聞の基本的な構成について学びました。

